

西脇市の財政状況をお知らせします

平成24年度の西脇市の決算がまとまりましたので、一般会計・特別会計・企業会計の状況についてお知らせします【表1】。併せて、基金や地方債の残高、健全化判断比率についても公表します【表3および4】。

長引く地域経済の低迷で市税収入の大幅な増加が見込めない中、引き続き合併特例債や国・県の補助金などを最大限活用し、当面する課題に積極的に取り組みました。一般会計については合併以後8年連続で黒字を確保し、また、実質公債費比率・将来負担比率ともに良化しました。

一般会計決算の概要【表2】

歳入の状況

市民税は、前年度決算額と比べて、6803万4千円増加（前年比3・4%増）しました。これは、年少扶養控除の廃止など税制改正に伴う税収の増加だと考えられます。一方で、評価替え等により課税標準額が下落したことに起因して、固定資産税が2億3130万2千円減少（前年比8・9%減）しました。結果として、市税全体で1億8689万9千円の減少（前年比3・6%減）となりました。

地方交付税は、市税の減少、合併特例債の元利償還金が増

加したことなどから、2億7501万8千円増加しました。

国庫支出金は、西脇南中学校改築事業に係る補助金等により1億2906万4千円増加。県支出金は、西脇市日本のへそ日時計の丘公園が兵庫県から移管されたことに伴う維持管理運営交付金等により2億3267万5千円増加しました。

市債は、西脇南中学校改築事業に伴う借入等により、3億2790万3千円増加しました。

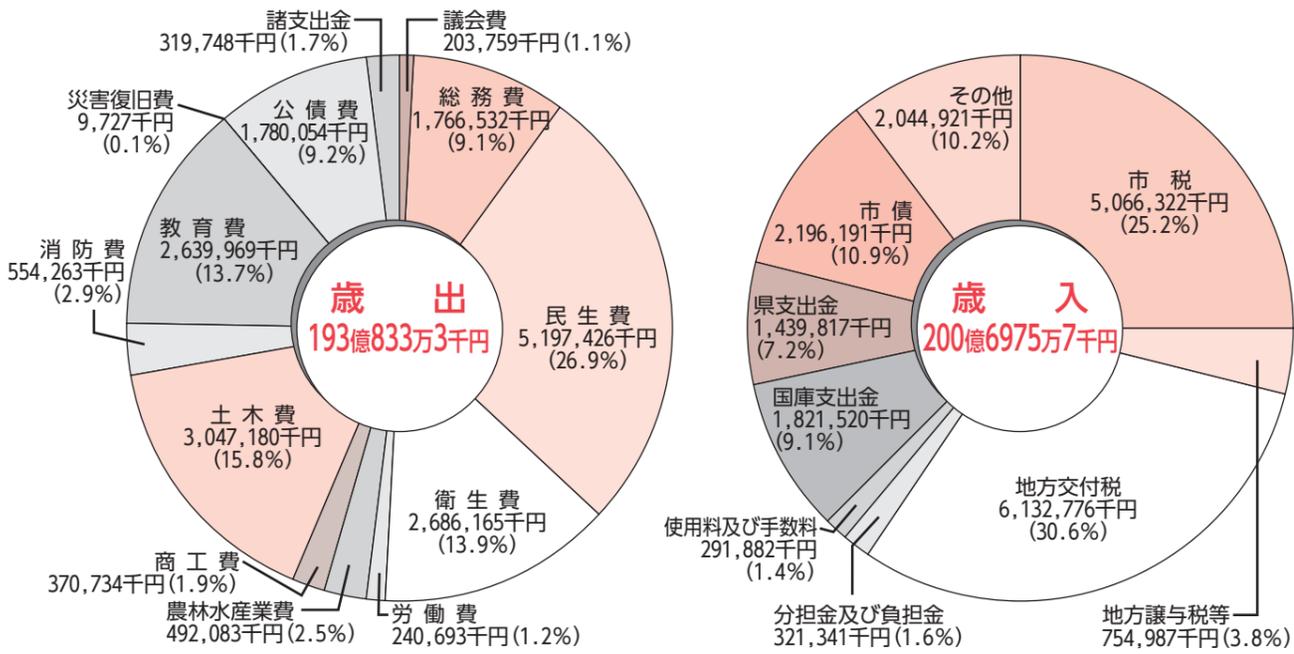
歳出の状況

歳出の状況を目的別にみると、総務費は地域振興を目的とした基金への積立が終了し

たことなどにより5億8166万2千円の減少、土木費は西脇市日本のへそ日時計の丘公園の維持管理運営のための基金への積立などにより6億5373万5千円の増加、教育費は西脇南中学校改築事業等により11億3100万6千円増加しました。

性質別にみると、義務的経費では、人件費が1億5832万4千円減少しました。投資的経費では、普通建設事業費が9億3895万4千円増加しました。その他の経費では、積立金が3億6157万3千円減少、繰出金が茜が丘宅地供給事業特別会計への繰出の増加により、3億4161万8千円増加しました。

■平成24年度西脇市一般会計決算【表2】



特別会計決算の概要

特別会計とは、一般会計と区分して特定の目的で設置された会計のことです。西脇市には、国民健康保険、学校給食センター、老人保健施設、公営墓地、介護保険、茜が丘宅地供給事業、後期高齢者医療の7会計があります。

特別会計の決算額は、7会計合計で、歳入107億7063万6千円、歳出105億2744万3千円で、ほぼ予算どおりの執行となりました。

国民健康保険特別会計

財政調整基金を取り崩すこととなく2億1541万4千円の黒字となりました。

茜が丘宅地供給事業特別会計

平成16年度から94宅地の販売を開始し、9年間で48宅地を分譲しました。

企業会計決算の概要

企業会計には、水道事業、簡易水道事業、下水道事業、病院事業の4会計があります。

水道事業会計

老朽管更新事業を実施するとともに、高度浄水処理施設整備事業に着手しました。また、事業の効率化や経費節減に取り組んだ結果、1501万3千円の黒字となりました。

■基金・地方債残高【表3】

区分	平成24年度(A)	平成23年度(B)	比較(A-B)
基金残高	7,677,058	7,184,403	492,655
地方債残高	55,383,479	56,491,254	△1,107,775

■健全化判断比率【表4】

健全化判断比率	平成24年度決算	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率 ※1	—	13.09	20.00
連結実質赤字比率 ※2	—	18.09	30.00
実質公債費比率 ※3	11.0	25.00	35.00
将来負担比率 ※4	69.2	350.00	—

黒字の場合は「—」と表示

- ※1 一般会計などを対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率
- ※2 全会計を対象とした実質赤字の標準財政規模に対する比率
- ※3 元利償還金及び準元利償還金の標準財政規模に対する比率
- ※4 一般会計などが将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する比率

■平成24年度会計別決算の状況【表1】

区分	歳入額	歳出額A	差引額	23年度歳出額B	比較A-B	
一般会計	20,069,757	19,308,333	761,424	18,632,626	675,707	
特別会計	国保会計	5,415,316	5,199,902	215,414	5,119,454	80,448
	その他	5,355,320	5,327,541	27,779	4,943,081	384,460
	計	10,770,636	10,527,443	243,193	10,062,535	464,908
企業会計	水道事業会計	967,762	952,749	15,013	953,202	△453
	簡易水道事業会計	42,059	23,015	19,044	24,037	△1,022
	下水道事業会計	1,721,586	1,682,365	39,221	1,696,779	△14,414
	病院事業会計	7,457,869	7,346,039	111,830	7,296,910	49,129
	計	10,189,276	10,004,168	185,108	9,970,928	33,240
合計	41,029,669	39,839,944	1,189,725	38,666,089	1,173,855	

※企業会計は、収益的収支額を計上しています(税抜き)。

簡易水道事業会計

事業の効率化に努め、1904万4千円の黒字となりました。

下水道事業会計

企業債の元利償還金や施設の老朽化に伴う修繕経費等が増加している状況であり、一般会計からの補てんを行う中で3922万1千円の黒字となりました。

病院事業会計

「西脇病院改革プラン」を再策定し、経営改善に取り組

んだ結果、1億1183万円の黒字となりました。

財務指標【表3・表4】

表3は貯金に当たる基金残高と借金に当たる地方債残高を示しています。平成23年度と比較して、貯金は4億9265万5千円増加し、借金は11億777万5千円減少（前年比2・0%減）しました。表4は健全化判断比率です。西脇市はいずれの指標も「健全段階」となっています。